



サイバー犯罪急増中！

ネット上には**危険**が いっぱいです

携帯電話やパソコンの急速な普及による「ネット社会」の到来は、いつでも・どこでも必要な情報が得られる反面、「出会い系サイト」での犯罪や「不当請求」などのさまざまなトラブルの温床にもなっています。インターネットと上手に付き合っていくには？ —悪質な事例とともに注意点をまとめてみました。

わいせつ・薬物・自殺…
有害情報がはんらん

サイバー犯罪とは、コンピュータやインターネットを利用した犯罪のこと。ネットの急速な普及を背景に、関連する犯罪も増え続け、その手口も年々複雑・巧妙化しています。

警察庁によると、平成19年中の全国でのサイバー犯罪の検挙件数は、平成15年の約3倍となる5,473件。内訳は、不正アクセス禁止法違反1,442件、コンピュータ・電磁的記録対象犯罪113件、ネットワーク利用犯罪(オークション詐欺、児童買春・青少年保護育成条例違反、わいせつ物・児童ポルノ事犯)3,918件です。

わいせつ・薬物・自殺など、子どもたちに悪影響を及ぼす情報のはんらんは深刻な問題となっています。そうした有害サイトに関連した犯罪に子どもたちが巻き込まれるケースが多発しているからです。

保護者の皆さんは、子どもがそうした情報に触れることのないよう、①常にインターネットの利用状況を把握する②ルールを決めて利用させる③有害情報へのアクセスを制御する「フィルタリングサービス」(有害サイトアクセス制限サービス)を利用する、といった対策に努める必要があります。

架空・不当請求メール

事例

- 自分の携帯電話にメールが送られてきたため、何かと
思っけて開いたとたん、アダルトサイトに会員登録され、
入会金を請求された
- ホームページを見ていて、「年齢確認」をクリックした
だけで「登録ありがとうございます。料金を支払ってくだ
さい」と表示された

注意点

- 慌てて料金を支払わない
- メールを返信したり問い合わせの連絡先に連絡しない
- 不審なURLをクリックしない
- 証拠を保存しておく
不意の料金請求が来ても、身に覚えのないものや「有
料」である明確な表示がないものについては、支払う必要
がありません。

インターネット・オークション詐欺

事例

- オークションで落札できなかったが、メールで直接取り
引きを持ちかけられ、これに応じ代金を振り込んだが、
商品が送られてこない
- オークションで落札したものの、送られてきた商品が
壊れていた

注意点

- オークション事業者が出品者の評価を提示している場
合には、悪い評価の相手との取り引きを避ける
- エスクローサービス(取引の安全性を保証する仲介サー
ビス)や代金着払いなど安全な方法で取り引きする
- オークション外での直接取り引きに応じない
取引相手の住所・氏名・連絡先(自宅の電話番号)など
は、必ず確認しておきましょう。相手の銀行口座の控えや
振り込みの控えなどを保管しておくことも必要です。

出会い系サイト

事例

- 携帯電話の出会い系サイトを通じて知り合った男
性にドライブに誘われたところ、車内に監禁され
たばかりか、現金を奪われ、両親に身代金まで要
求された
- 出会い系サイトの掲示板に書き込みをしたとこ
ろ、だまされて性風俗店に連れて行かれ、売春を
させられた

注意点

- 出会い系サイトによる犯罪被害者は、中学生・
高校生の女子がほとんどです。出会い系サイトは、
「見ない!書き込まない!絶対に会わない!」
- 子どもに携帯電話を持たせる際は、フィルタリン
グサービスを設定する
出会い系サイトの利用は、18歳未満の児童はで
きません。出会い系サイトを利用して、大人が18歳
未満の児童に「お金を払うから交際してほしい」など
と書き込みすることや、18歳未満の児童が援助交
際を求める書き込みをすることは、「出会い系サイト
規制法」で禁止されており、処罰の対象となります。

- そのほか、他人のコンピュータに不法侵入し、個人
情報を盗み取る悪質ソフト「スパイウェア」や、実
在する金融機関や企業などを装い偽物のホーム
ページに誘導して、カード番号・暗証番号・ID・パ
スワードなどの個人情報を不正に入手する詐欺行為
「フィッシング詐欺」にも注意が必要です。

※くわしくは交通防犯課(☎20-1527)へ。

チェック → 警察庁サイバー犯罪対策ホームページ(<http://www.npa.go.jp/cyber/>)
千葉県警察本部サイバー犯罪相談窓口(☎043-227-9110)

西中学校で情報モラル講座
「ネットは地下室のような
危ない場所」



真剣に耳を傾ける生徒たち

携帯電話やインターネットでの
トラブルに生徒が巻き込まれない
ようにと、夏休みを前に、西中学
校で「携帯電話の情報モラル講座」
が開催されました。講師として招
かれたのは、東京情報大学情報セ
キュリティ研究室の鈴木英男准教
授。鈴木さんは「匿名性が強く外部
の目が届きにくいネットは、地下
室のような危険な場所」と、最新の
実例やデータを挙げて注意を呼び
掛けました。講演の後、生活委員
長を務める3年生の内田健登さん
は「普段何気なく使っている携帯電
話やネットには危険が潜んでいる
ことが分かりました。今日教えて
もらった話をよく理解して、今後
は気を付けて使っていきたいと思
います」と感想を述べました。